

## 新スーパーコンピューター SR8000/MPP 試験運用開始のお知らせ

スーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11)「システム変更等のお知らせ」にてお知らせしていません通り、本センターでは2001年3月に新スーパーコンピューターSR8000/MPP(以下SR8000/MPP)を導入致します。本システムは現行のベクトル型スーパーコンピューターSR8000(以下SR8000)システムの上位互換機種であると共に性能、機能について強化されているため、SR8000の利用者環境を引き継ぐ運用として、現時点では以下に示す利用形態を予定していますので御参照下さい。なお、これに伴いSR8000はこれまでの基本負担金による課金方式から、定額負担金方式へと利用者への提供形態を変更してサービスすることを検討しています。詳細は本誌別記事「定額負担金『バルクコース』の運用開始について」を御覧下さい。

- 試験運用期間  
2001年4月2日(予定)～4月末サービス日
- ホスト名  
SR8000/MPPを利用する場合には以下のホスト名にて接続します。
  - sr8000-s.cc.u-tokyo.ac.jp スカラージョブ実行用
  - sr8000-p.cc.u-tokyo.ac.jp 要素並列ジョブ実行用4月以降、上記ホスト名ではSR8000にログインできません。SR8000のホスト名は変更となり、運用体系が変更となります。利用方法は次号スーパーコンピューティングニュースを御覧下さい。
- 利用登録
  - 新規に登録する場合  
オンラインによるnewuser手続きにより、SR8000/MPPへの利用登録を行います。sr8000-s.cc.u-tokyo.ac.jpに接続し、ログイン名「newuser」でログインして「User Account Registration」を選択します。その後はメッセージに従います。(本年度中の上記操作はSR8000への登録となりますので御注意下さい。)
  - SR8000に登録がある場合  
本センター大型計算機利用の継続申請が行われており、本年度のサービス終了(2月25日)時点でSR8000に登録がある場合は4月以降、自動的に御利用のアカウント及びファイルをSR8000/MPPに継続致します。また、/homeファイル使用量上限値は本年度のサービス終了(2月25日)時点の値となりますので御承知置き下さい。(SR8000/MPPへの継続利用を希望しない場合には2月24日までにnewuser手続きによる取消し「User Account Deletion」を行って下さい。)
  - SR2201に登録がある場合  
SR2201の登録は継続されません。4月以降、新規にSR8000/MPPの登録をお願い致します。SR2201のサービス終了については本誌別記事「超並列型スーパーコンピューターSR2201 サービス終了のお知らせ」を御覧下さい。

- 利用方法

SR8000/MPP は SR8000 を引き継ぐ運用のため、現在と同様に「インタラクティブ処理用サブシステム」( sr8000-s、sr8000-p )へログインして利用します。バッチジョブは qsub コマンドにより、「バッチ処理用サブシステム」( sr8000-bt )へ投入します。

- SR8000 からの移行の場合

SR8000/MPP は SR8000 の OS、コンパイラ、ライブラリーについて上位互換を有しているため、特別な注意事項なく利用できます。SR8000 上でコンパイルしたプログラム（実行ファイル）についてもそのまま SR8000/MPP 上で実行することができますが、SR8000/MPP 特有の最適化や、機種に適應したオブジェクトの生成のためにも御利用のプログラムは再コンパイルして実行することをお勧めします。

ただし、バッチジョブのジョブクラスについては実行性能、主記憶容量等が異なるためジョブクラス制限値が変更となり、キュー名称についても変更となる場合があります。この際、スクリプトファイルへの指定など利用者自身による変更が必要な場合もありますので御注意下さい。

- SR2201 からの移行の場合

SR2201 のソースプログラムは多くの場合 SR8000/MPP 上で再コンパイルすることで実行できます。ただし、幾つかの点で機能が異なりますので若干のプログラム修正が必要となる場合があります。詳細はスーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11)「SR2201 から SR8000/MPP への移行上の注意事項」を御覧下さい。

ジョブクラス制限値やファイルシステム構成等、詳細は次号スーパーコンピューティングニュースにて掲載致します。また、試験運用期間中の設定内容は正式運用時には変更となる場合があります。

- 課金

試験運用期間中の課金は無料とします。正式運用開始後の SR8000/MPP では現行の SR8000 で採用している基本負担金方式の課金体系による課金を継続する予定です。（課金単価及び CPU 時間の閾値等については現時点では検討中のため、決定次第スーパーコンピューティングニュース等でお知らせします。なお、単価は据え置きでも SR8000/MPP と SR8000 の実効性能比を考慮すると安くなると考えられます。）

（システム運用掛）